

広 報

みなみ 12

ふらのの

2020. DECEMBER No.777

- P2 ~3 功労者表彰式
- P3 手ぶらでアウトドアキャンプ
- P4 ~5 まちの除雪
- P6 富良野広域連合議会、税の書道展
- P7 まちの話題・出来事
- P8 落合地区防災訓練
- P9 ~10 カメラレポート
- P11 緊急経済対策
- P12 教育委員会通信
- P13 南富高新聞、学校だより
- P14 ほのお
- P15 子育て支援センターだより
保育所の元気な子どもたち
- P16 地域貢献活動、寄附・寄贈



南幾寅保育所お遊戯会
(10月24日)

永年にわたる功績を讃えて

令和2年度 功労者表彰式



令和2年度功労者表彰式が11月3日、保健福祉センターみなくろで挙行されました。

表彰は、これまで町の自治・経済・文化・社会などの各般にわたる町政振興に寄与され、多くの人々の模範と認められる行為があつた方々と、満80歳以上で50年以上本町に居住されている永住功労者を表彰し、その功績を讃えるものです。

表彰式では、物故者に対し出席者全員で黙とうし、町民憲章を朗読したあと、功労者の方々に表彰状が授与され、池部町長から「受賞された功労者5名の方と永住功労者23名の皆様に深甚なる敬意を表し、心より感謝申し上げます」と式辞を述べた後、受賞者を代表して永井敏広さんから「この榮譽に報いるため、決意を新たにし、本町のまちづくりの微力ながら精進努力してまいります覚悟であります」と謝辞が述べられました。

今年度顕彰された方々は、次の方々です。

自治功労

☆自治の振興発展に尽くされた方
佐藤 秀博さん(幾寅)

南富良野消防団第1分団の団員として平成元年から30年間の永きにわたり在職し、この間幾多の火災や災害に出動し、住民の尊い生命・財産を守るため、消防人としての使命感に徹し、令和2年から副分団長の要職を務め団員の士気高揚を図り、地方自治の振興発展に尽力されました。

鈴木 裕昭さん(下金山)

南富良野消防団第3分団の団員として昭和55年から39年間の永きにわたり在職し、この間幾多の火災や災害に出動し、住民の尊い生命・財産を守るため、消防人としての使命感に徹し、平成28年から分団長の要職を務め団員の士気高揚を図り、地方自治の振興発展に尽力されました。

産業経済功労

☆産業経済の振興発展に尽くされた方
永井 敏広さん(下金山)

株式会社永井工務店の代表取締役として平成12年から20年間の永きにわたり経営にあたられ、社

社会福祉功労

☆社会福祉の向上に尽くされた方
佐藤 圭子さん(幾寅)

昭和62年から幾寅婦人会の役員として在職し、平成8年からは幾寅婦人会長及び町婦人団体連絡協議会長の要職を務められ、永きにわたり組織運営と会員の育成にあたられ、女性の社会参画の推進とボランティア活動に取り組むなど、社会福祉の振興発展に尽力されました。



須藤 良志恵さん(幾寅)

町婦人団体連絡協議会の役員として平成12年から20年間の永きにわたり在職し、平成20年からは会長の要職を務められ、女性の社会参画の推進とボランティア活動に取り組むなど、社会福祉の振興発展に尽力されました。

永住功労 (23名)

☆満80歳以上で本町に50年以上在住し、今日の郷土発展に尽くされた方

(基準日：本年4月1日)

- | | | |
|-----------|-----------|---------|
| 【落合地区】 | 小出 登子さん | 佐藤 圭子さん |
| 松原 清市さん | 菅原 勝夫さん | |
| 【幾寅地区】 | 多田 信美さん | |
| 一條 シンさん | 二木 昭子さん | |
| 五日市 清さん | 新田 信一さん | |
| 五日市 利智子さん | 三橋 富美子さん | |
| 内田 保雄さん | 山田 彌生子さん | |
| 加藤 哲夫さん | 【金山地区】 | |
| 河原 澄和さん | 熊谷 輝美代さん | |
| 黒田 光子さん | 西田 照子さん | |
| 佐々木 ツ子さん | 山崎 昌丞さん | |
| 佐々木 智子さん | 長谷川 サダ子さん | |
| 佐藤 和子さん | | |



晩秋のかなやま湖オートキャンプ場で 手ぶらで アウトドアキャンプ



10月31日より、かなやま湖オートキャンプ場にて1泊2日による「南富良野・手ぶらでアウトドアキャンプ」が開催されました。

このキャンペーンは、町、まちづくり観光協会により設立した実行委員会と町内のアウトドア事業者、町と包括連携協定を締結している㈱モンスターの協力により開催され、40組88人が参加されました。

今年、コロナ禍において札幌などの都市部からキャンパーが増していますが、コロナ期が落ち着いてもキャンプやアウトドア体験などの野外活動は続いていくと見込まれ、さらなる本町のキャンプ場やアウトドア事業者への誘客を目的に、初心者でも参加できるよう手ぶらでのキャンプやアウトドア体験が行なわれました。また、水害で被災した町ならではのキャンプでの火起こし体験など、災害への対応に役立つ知識を知ってもらう防災意識を育む新たな観光スタイルの試行でもありました。

参加者は、㈱モンスターの会員メールでの告知により、道内外から集まり、初日はサバイバル登山家 服部文祥さんによるたき火講習会や、町内アウトドアガイドによるテント等の設置指導、流木を使ったたき火とスウェーデントーチ(木こりのロウソク)の講習が行われ、夕食時には、各自でたき火を起し、キャンプ用ガスコンロでお湯を沸かし、バタジャがをポイルしたりお湯を注ぐと3分で食べられるフリーズドライの非常食の準備をしていました。また、夕食には、幾寅婦人会の手作りいも団子や鹿肉ジンギスカンが振る舞われました。

2日目は、晩秋の寒さの中起床し、暖を取るためたき火を起し、朝食にはなんぶ香房で製造されている災害用備蓄パンが用意され、午前9時からカヌーやロードバイク、小枝の鉛筆づくりなどのアウトドア体験を楽しんでいました。

閉会式終了後、参加者が帰る際には、実行委員会会長の池部町長が1台ずつ車をお見送りし、参加者からは「また、かなやま湖に遊びたいです」など多く声が寄せられています。

なお、このキャンペーンは観光庁の「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業により実施され、実行委員会では、冬にもキャンプ企画を予定しています。

この冬を快適に過ごすための除雪作業に 町民皆様のご協力をお願いします

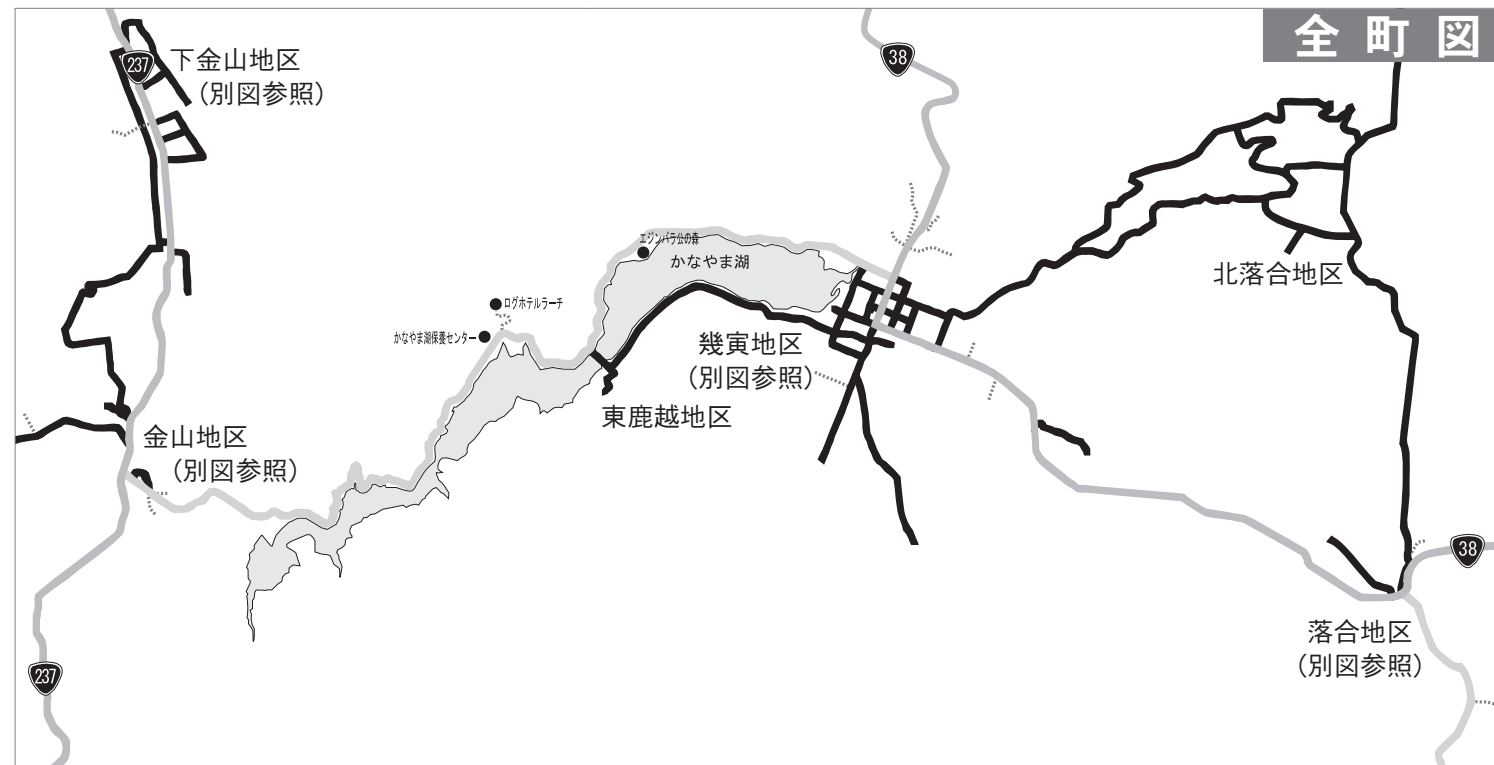
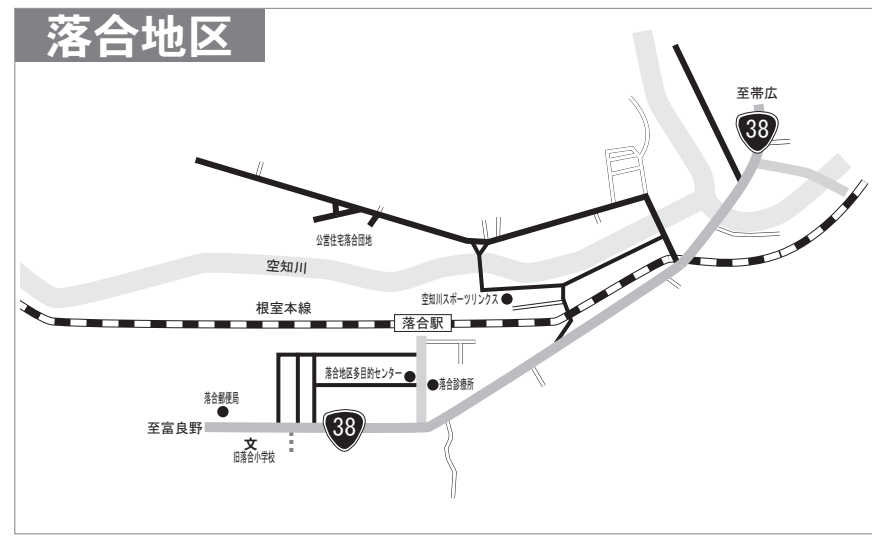
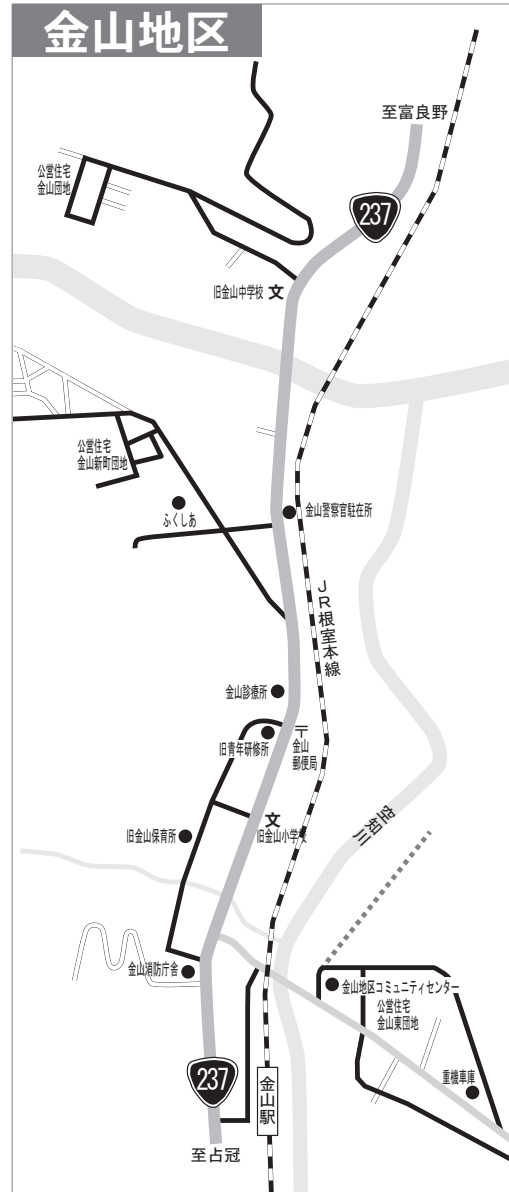
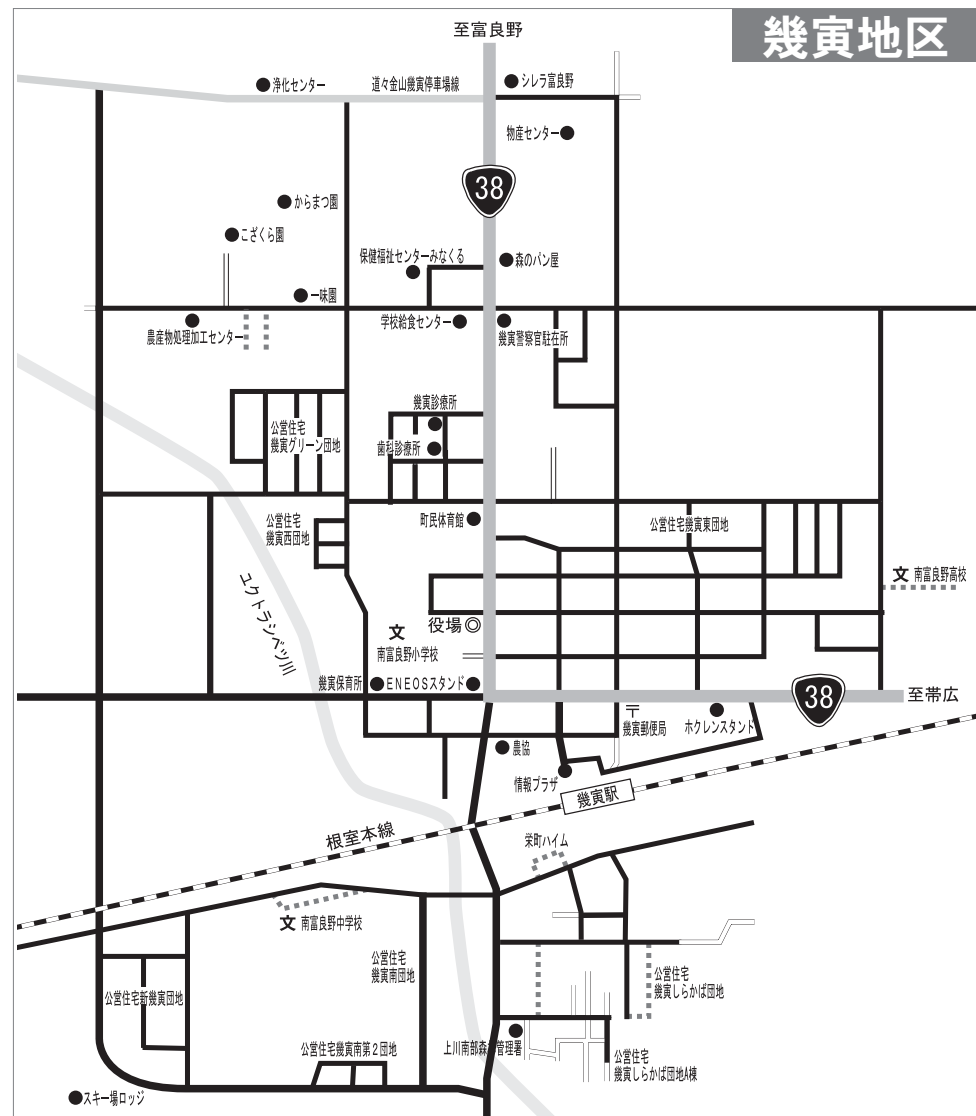
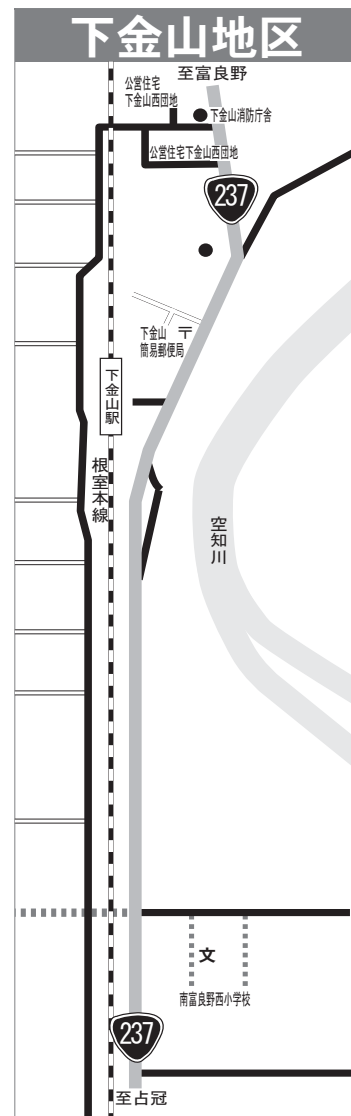
「この冬の道道・町道除雪路線」

●問い合わせ先 ● 建設課土木係 ☎52-2179

“冬将軍”の到来を前に、この冬の除雪計画ができました。
道道・町道における冬期交通網の確保については、地域のご要望
に応えるよう、今年度も主要路線の常時除雪を行うほか、他の路線
についても随時除雪を行う計画ではありますが、随時除雪路線の除雪
作業は、常時除雪路線の除雪作業終了後になりますので、積雪の程
度により、早急な路線確保ができない場合があります。また、事故
防止のため、除雪作業は視界不良や吹雪時などには行いませんので、
ご了承ください。

除雪作業の際には、車の路上駐車や物件の放置などが作業の
支障になりますので、作業が円滑に行えるよう皆様のご協力
をお願いいたします。
◎路上駐車は絶対にやめましょう。
◎道路には物を置かないようにしましょう。
◎道路脇での遊びは危険ですので絶対にやめましょう。
◎排雪作業の際には誘導員の指示に従うようお願いします。
◎道路に面した屋根には雪止めを設置しましょう。
◎敷地内の雪は敷地内で処理するようにしましょう。

○各地区担当業者		常時除雪路線
地区名	担当業者	常時除雪路線
北落合	きたおち除雪隊	常時除雪路線
落合	(株)落合 P & F	随時除雪路線
幾寅	南富サポート(有)	国道
東鹿越		町道
金山	(株)秋山商事	町道
下金山		町道



路上駐車は やめましょう

令和2年第2回富良野広域連合議会定例会が、10月14日に開催されました。本定例会では、補正予算案1件、人事案2件、条例案1件、認定1件（令和元年度一般会計決算認定）、報告3件、その他1件が提案され、原案とおりの可決・認定されました。

任期満了に伴う教育委員会委員には、服部久和氏（上富良野町教育委員会教育長）、岩瀬秀一氏（南富良野町教育委員会教育長）が再任されました。

閉会中の継続調査として、総務産業委員会及び文教環境委員会から「所管施設の運営管理について」の調査報告がありました。

可決・認定された案件は、次のとおりです。

- ※議案
- 議案第1号 令和2年度富良野広域連合一般会計補正予算（第2号）
歳入歳出それぞれ21,917千円を追加
《主な歳入補正》
・市町村負担金 △21,673千円・寄附金 50千円・繰越金 43,941千円・諸収入 699千円
・連合債 △1,100千円
《主な歳出補正》
・消防費（常備消防費）12,371千円・消防費（非常備消防費）517千円
・消防費（消防施設費）7,495千円・教育費（保健体育費）1,534千円
 - 議案第2、3号 富良野広域連合教育委員会委員の任命について
服部久和氏（上富良野町教育委員会教育長）の任命に同意
岩瀬秀一氏（南富良野町教育委員会教育長）の任命に同意
 - 議案第4号 富良野広域連合職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について
 - 議案第5号 指定管理者の指定について（公共串内牧場哺育育成センター及び採草放牧兼用地）
 - 認定第1号 令和元年度富良野広域連合一般会計歳入歳出決算の認定について
 - 報告第1号 専決処分報告（北海道市町村職員退職手当組合理約の一部変更について）
 - 報告第2号 専決処分報告（北海道市町村総務組合理約の一部変更について）
 - 報告第3号 専決処分報告（北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約の一部変更について）
 - ※その他会議に付した案件
 - 例月出納検査結果報告（令和元年度1月分～5月分、令和2年度4月分～8月分）
 - 令和元年度富良野広域連合教育行政評価報告

「税を考える週間」小中学生による税の書道展

国税庁が毎年実施する「税を考える週間」（11月11日～17日）にちなみ、富良野地方青色申告会連合会主催による税の書道展を開催、保健福祉センターみなくるで応募作品が展示されました。

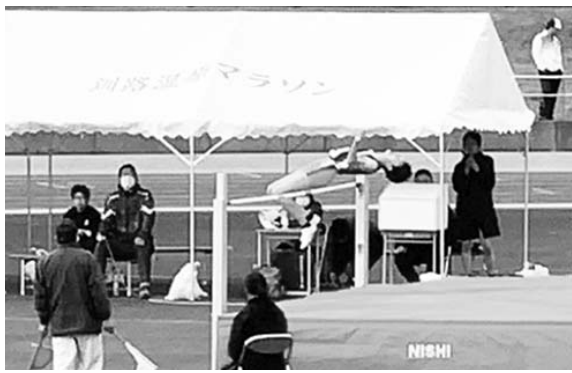
富良野税務署長賞	武田 ののさん（南富中3年）
北海道税理士会旭川支部富良野部会長賞	大野 由愛さん（南富小6年）
富良野地方青色申告会連合会会長賞	北嶋 千聖さん（南富小5年）
（公社）富良野地方法人会長賞	鹿野 慶洋くん（南西小2年）
富良野地方間税会長賞	山本あす美さん（南富小4年）
南富良野町長賞	天内 笑幸さん（南富中3年） 大和 美優さん（南西小3年）
南富良野町教育委員会教育長賞	辻澤 花梨さん（南富中2年） 鹿野 由宇さん（南西小4年）
（公社）富良野地方法人会 南富良野支部長賞	河原 朋夢くん（南富中2年） 金村 一汰くん（南富小3年）
富良野地方青色申告会連合会 南富良野支部長賞	佐々木愛唯さん（南富中1年） 石川 蒼さん（南富小3年）
奨励賞	木村 吏玖くん（南富中1年） 加藤 凜和さん（南富小5年） 加藤 瑞生さん（南富小6年） 松鶴 紬生さん（南西小5年）



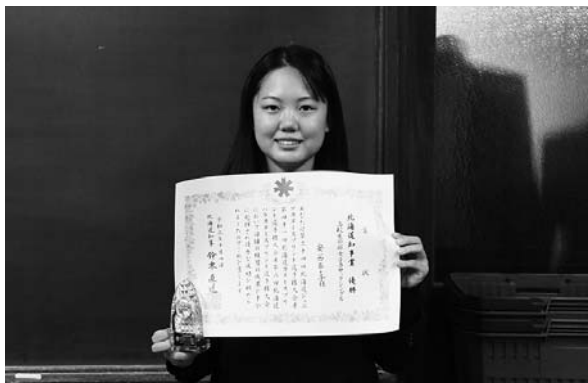
2020 U15チャレンジ陸上大会 全道2位
男子走り高跳び



10月4日（日）、釧路市民陸上競技場にて開催されました「2020 U15チャレンジ陸上大会」に出場しました南富良野中学校河原朋夢君（2年生）が、走り高跳び競技において、熱戦を繰り広げ全道2位に輝く活躍をいたしました。この大会は、各地方新人陸上大会で2位までになった選手を対象に全道各地から強豪が集まり、河原君も旭川陸上大会で優勝を果しての出場となり、当日は1メートル62センチを跳ぶ自己新記録を更新しました。今年、新型コロナウイルス感染症の影響により、学校の休校や部活動での練習が出来なく、1人で基礎体力中心の練習になりましたが、河原君は「その期間の練習が身を結び大会当日では、身体が軽く自分でも力が付いているのが分かりました」と自信を持って大会に臨めたことを話されています。また、今後の目標について「大会の順位より自分に勝ち、今回、出した記録をさらに更新していきたい」と力強く答えています。今後さらなる活躍が期待されます。



北海道ジュニアカヌースプリント選手権大会
高校生の部 女子カヤックシングル 全道優勝



10月4日（日）、苫小牧市白鳥湖にて開催されました「第24回北海道ジュニアカヌースプリント選手権大会」に出場しました南富良野高校安西百々子さん（3年生）が、高校生の部女子カヤックシングルにおいて、見事、全道優勝に輝きました。安西さんは、二人の兄と母がカヌー競技の選手であり影響を受け、小学2年生からカヌーを始め、カヌーを続けるため南富良野高校に入学し、1年生の頃から2年連続ペア（二人乗り）で全国高校総体に出場しています。今年、ペアからシングル（一人乗り）に転向して全国大会を目指していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により高校総体が中止になり、この大会が高校での最後の大会となりました。また、春は水上練習ができなくなり自宅練習を余儀なくされ、練習量やシングルへの転向の不安などを孤獨な自宅練習や、かなやま湖での追い込み練習で心も体も鍛え上げました。

今大会での優勝について、安西さんは「高校卒業後は競技を引退するつもりなので、競技者としては最後の大会に満足いくレースで優勝ができ、やり切ったと思います。ありがとうございます」と笑顔で喜びを話していました。この選手権大会は、全国高校総体の代替大会として行われ、全国大会はありませんが、安西さんには北海道知事賞が贈られました。

功労者表彰式
まわりの除雪
まわりの話題・出来事
カメラレポート
地域応援券事業
南富高新聞
子育て支援センター

功労者表彰式
まわりの除雪
富良野広域連合議会
税の書道展
落合地区防災訓練
カメラレポート
教育委員会通信
ほのお

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎52-2115）までお知らせください。

カメラレポート

CAMERA REPORT

ランとも 「RUN伴」で町内をリレー（10月12・14・16日）

毎年、多くの町の民皆さんや関係者が参加し、認知症への理解を呼び掛ける運動（RUN伴）が行われていますが、今年は新型コロナウイルスの影響により、参加者を募集せず、ごく少数により3日間をかけ町内全地区で呼び掛け運動を行ないました。

この運動では、認知症支援のシンボルカラーであるオレンジのTシャツを着て、市街地を歩き理解や協力を求めました。また、各地区の駐在所に立ち寄り、日頃よりお世話になっている感謝の気持ちを伝えることができました。



農産物直売所作倶楽感謝祭（10月17日）

下金山地区の農産物直売所「作倶楽」が、今シーズン5ヶ月間の最後の営業を行いました。

午前9時の開店前から多くの買い物客が訪れ、駐車場に設置された屋外売店には、玉ねぎやじゃがいもなど多くの種類の野菜やほくちょう米などが並びました。

また、100円でのトマトや小玉ねぎの詰め放題は大人気であり、買い物をした方の先着100名には、いも、玉ねぎ、人参が入ったカレーセットが配られ、訪れた皆さんは感謝祭を楽しんでいました。



自衛隊徒步行進訓練（10月21日）

上富良野駐屯地第4特科群第131特科大隊の徒步行進訓練が、かなやま湖周辺の東鹿越、幾寅地区で行われました。

訓練は、隊員が約20kgの装備をして旧東鹿越小学校を出発し、道の駅、かなやま湖畔キャンプ場を通過し、鹿越大橋を渡り旧東鹿越小学校に戻る18kmのコースで実施され、隊員達は、重い装備を苦にせず徒步行進を行っていました。

出発地点や休止地点では、自衛隊協力会南富良野支部の皆さんから、激励や飲み物が振る舞われていました。



落合地区で防災訓練を実施しました



11月6日（金）8時30分、南富良野消防支署に警戒レベル4（避難勧告・避難指示）を通報し落合地区の防災訓練が開始され、広報車2台が避難広報を行い、訓練に参加する地域住民へ避難を促しました。

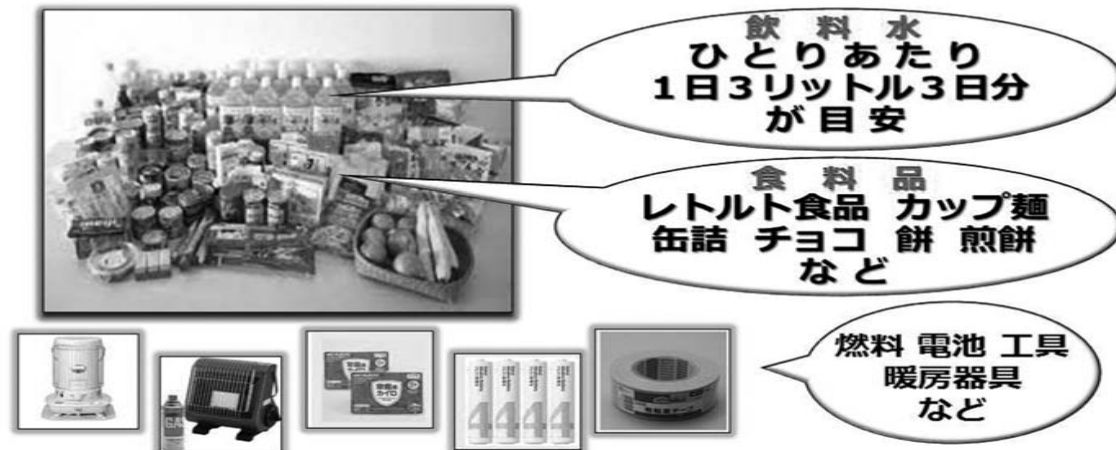
避難所である落合地区多目的センターへ避難をしてきた訓練参加者は、コロナ禍を想定した訓練のため、町職員に避難所正面の事前受付で検温及び体調等を申告し、健康者と発熱・体調不良者を確認した後、それぞれ別の入口と居住スペースへ誘導されていました。訓練参加者は、コロナ禍に対応した避難所の体制を実地で確認でき、避難所での生活をイメージすることができました。

その後、町の防災マネージャーから防災の自助行為として、普段から準備し避難時に携行する「非常持ち出し品」について、会場内に展示したサンプル等により説明がされたほか、参加者が役割分担を決め、災害本部との連絡や救済物資の受入れ、救護活動など、避難者が自ら避難所運営に携わる訓練も行いました。また、救助物資の段ボールベッドの組立や設置についても体験をし、訓練に参加した皆さんは防災意識を高めていました。

～災害への備え～ 非常持ち出し品で備える



おうちの備蓄品で備える



カーリングを体験しよう (11月15日)

町子ども会育成連絡協議会は、スポーツ交流会としてカーリング体験を空知川スポーツリンク스에서開催しました。

参加した子どもの中には、ほとんどカーリングをしたことがない子もいましたが、指導者からブラシを使ったスweepや目標にストーンを投げる練習を教わり、最後には楽しく試合形式の練習が出来るまで上達し、「もっとカーリングを上手になりたい」など話していました。



新型コロナウイルス感染症に対する緊急経済対策 地域店応援券・飲食店応援券を町民の皆さんに配布



町では、商工会から新型コロナウイルス感染症に対する緊急経済対策に関する要望書を受け、例年であれば年末に向けて町内消費活動が活発する時期、コロナ禍による地域経済への影響が長期化している状況を検討し、春に引き続き町独自の緊急経済対策として、「地域応援券事業」を開始しました。

この事業は、町内の商店や飲食店を利用する全町民の皆さんを対象に、地域店応援券(商品券) 7千円分、飲食店応援券(商品券) 3千円分を交付し、利用していただき地域経済の早期回復、町内消費活動の維

～ 宅配サービス ～

地区名	曜日
北落合・落合	月・水・金
金山・下金山	火・木・土

○お届けの時間帯
昼食 11時～12時30分
夕食 17時～18時30分

持を図るものであり、11月5日・6日に、町内5ヶ所の会場で交付され、多くの方が会場に訪れていました。

町内の商店や飲食店では、町民の皆さんに喜んで利用をしていただけるよう各店独自のサービスやテイクアウトメニュー、出前メニューなどの工夫が図られるほか、商工会では、幾寅地区以外の町民の皆さんに、飲食店を利用していただけるよう町内タクシー会社を利用して、曜日による昼食と夕食のテイクアウトメニューの宅配サービスも行われます。なお、応援券の有効期限は令和3年3月20日までとなっています。

中学生による町内清掃活動 (10月27日)

南富良野中学校では、毎年、春に授業の一環として町内清掃活動を行っていましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で学校の休校が続き授業時間を確保するため、町内清掃活動を行うことが困難でありましたが、生徒会の発案により、授業が終わった放課後、1年生から3年生まで36人が参加し、町内清掃活動が行われました。

生徒は、火ばさみとゴミ袋を手に学校の玄関前に集合し、各班に分かれ学校周辺や道路などのゴミを袋いっぱい拾っていました。最後に三浦 雅史君(2年)から「今後もボランティア精神を忘れずに生活しましょう」と挨拶がされました。



長寿をお祝いして(10月28・29日)

今年は、新型コロナウイルスの影響により敬老会が中止になりましたが、長寿のお祝いと永年のご苦労に対する感謝の気持ちを込め、町内75歳以上の皆さんへお菓子の詰め合わせや長寿番付表のほか、幾寅婦人会の手作りによるお赤飯が各戸に届けられました。

受け取った皆さんは、敬老会が中止になり残念そうでしたが、例年のとおり長寿番付表やお赤飯をもらえることができ、大変喜んでいました。



故高倉健さんを偲ぶ (11月10日)

高倉健さんの7回忌であるこの日、映画の舞台になった幌舞(幾寅) 駅で「高倉健さんを偲ぶ会」が行われました。

駅には、健さんや映画「鉄道員」のファンが訪れ、幾寅婦人会から、生前、健さんの好物だった「コーヒー」が振る舞われ、展示されている映画の縁品やロケセットを見て、今は亡き高倉健さん、映画「鉄道員」に思いを馳せていました。

訪れた方の中には、道外からお越しになられた方もいました。



日本の伝統文化に触れる (11月13日)

教育委員会主催の北海道巡回小劇場が南富良野小学校体育館にて開催されましたが、今年は密を避けるため南富良野小学校の1・2年生と南富良野西小学校の児童は、リモート配信にて参加しました。

学校寄席として落語や色物が披露され、落語では、子どもにも分かりやすい話で、落ちでは児童生徒も楽しく笑っていました。色物では、傘などの道具を使い色んな物を回す曲芸などに、一挙一動に目を見張っていました。



教育委員会通信

保護区域内の「イトウ捕獲」自粛をお願いします

町民や遊魚を楽しむ皆様の手で大切な資源「イトウ」を次世代に残しましょう！



◎越冬保護区
捕獲自粛区域
かなやま湖 (■の範囲内)
捕獲自粛期間
令和2年12月15日から令和3年1月31日

「南富良野町イトウ保護管理条例」に関する問い合わせ先 教育委員会生涯学習係 ☎52-2145

平成28年8月の水害から4年が経過し、イトウの個体数が徐々に回復しつつある状況です。

大型のメス個体は大きな卵を数多く持ちます(体長1メートルのメスなら、7mmの卵を1万粒くらい)。親魚が大型であれば、生まれた稚魚の体サイズも卵の大きさに比例して大きくなります。大きな稚魚であれば当年の生残率は小型稚魚に比べて高くなるため、数年後の資源量に大きく貢献することになります。

また、一般的に体サイズ(年齢)と個体数の関係では、年齢が高くなるにつれて個体数は少なくなりますが、これは生物群集の健全性を示す一つの指標にもなります。それぞれの年齢ごとの個体数によって構成されるバランスを維持することも、全体のイトウ個体群維持にとても重要です。

つまり、どの体サイズのイトウでも個体群維持に欠かすことのできない存在で、なかでも特に大型個体が個体群に与える影響が強いということです。

本町では「南富良野町イトウ保護管理条例」に基づき、越冬期間におけるイトウ個体の保護管理を図る、種の保存対策として、令和2年12月15日から令和3年1月31日までの間、上図のとおり越冬保護区を指定していただきますので、引き続きイトウの捕獲の自粛をお願いします。

本町の大切な資源「イトウ」を次世代に残すため、皆様のご協力をお願いします。

南富高新聞

発行
南富良野高等学校

大学の学びを体験する 高大接続事業

11月9日(月)に札幌国際大学の遠藤正(えんどう ただし)教授にお越しいただき、1年生を対象に模擬授業を行っていただきました。本校と札幌国際大学は、高大接続(高校と大学のつながり)を生かした教育活動を推進しており、来年度から実施予定の町の教育資源を活用した「地域学」でも協働する計画となっています。

今回の模擬授業は、その前身となる企画で、観光学とスポーツ学を専門に研究している遠藤教授による「南富良野町のスキー観光につ



いて考える」という題目で2時間の講義をしていただきました。

1 講目は北海道や南富良野近郊のスキー場の歴史や観光業の変容を詳細なデータを用いた講義形式で、生徒との対話を柱とした授業展開により、楽しみながら理解を深めることができました。

2 講目は、本町にある国設スキー場をどう発展させるか、現状の強み、弱みなどを踏まえて、生徒がアイデアを出す授業展開となりました。終了後、遠藤教授からは、1年生ながら発言も多く、自分の町のこともよく考えていると感想をいただきました。生徒たちからは、「南富良野町の未来の可能性を考える良い機会となった」という感想が出ていました。来年度以降も継続して実施することで、生徒たちの課題解決能力が育まれていることが期待できるよい事業となりました。

南富良野町の未来を見据えた時に、重要となってくるものはどのようなものだろうか？

- 外国人だけでなく日本国内の観光客を呼び込むために新しい施設を作る。
- 移住してくる人に優しい条約のようなルールを作る。
- 宣伝の方法に工夫を凝らす。(ふるさと納税など)
- アクセスのしやすさが重要。
- 道の駅などの人が多く集まる施設を作る。
- 外国人観光客の言葉の壁を高校生がなくす協力をする。など

シリーズ学校だより(213)

各学校の取り組みを紹介します。

▶▶▶南富良野中学校▶▶▶

○南富良野中学校2学期の教育活動

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に関わり、活動の制約を受けている中ですが、本校では様々な工夫の中、2学期の教育活動を行ってきました。

9月1日の職業体験学習、8日の吹奏楽部ミニコンサート、そして12日のスポーツフェスティバル、14日からの宿泊学習、28日からの修学旅行など、感染予防に配慮し、新たな形を模索しながら、教育活動を進めてきました。

10月に入ってからも、5日にほうさい授業、8日にメグミルクによる食育、ヴォレアス北海道の来校、22日の参観日、27日はボランティアのごみ拾いと、外部の方や保護者の皆様に来校



修学旅行ウポポイにて
(記念写真もディスタンス確保)



吹奏楽部ミニコンサート
(フェイスシールド着用)

していただく機会も設けました。また、それぞれの学年の総合的な学習でも、講師の方にご来校いただいたり、「みなくる」へ出向いたりさせていただきました。感染拡大防止を第一に考えながらも、様々な工夫により、このような教育活動を展開できるのも、南富良野町教育委員会、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力によるものであり、心より感謝申し上げます。

まだまだ先が見えない新型コロナウイルスの状況ですが、広報8月号でお知らせした通り、「今できることをしっかりと行う」ことを大切にすると共に、感染の拡大状況を注視しながら、今後の教育活動を推進させていただきます。

子育て支援センター「ぷっこ」だより

～☆☆明るく元気な子にそだちますように☆☆～

☎52-2315

子育て支援センター ☎090-5985-4339

今年も残すところあと1ヶ月となりました。お子さんの年齢が小さいほど1年間の発達に驚くほど大きかったことと思います。お子さんの成長を家族皆と一緒に喜んであげてほしいと思います。

今年1年、子育て支援センターにご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。また、来年もどうぞよろしく願いいたします！！

☆ぷっこクラブ☆



寒くなってきましたが、体育館でミニ運動会を開催しました！親子で広い体育館をたくさん走っていました☆

☆金山出張支援センター☆



この日は3名のお友達が参加して、金山保育所のお友達と一緒に折り紙製作を行いました。とてもかわいく完成していました☆

☆ぷっこクラブ☆



ハロウィンにちなみ、かわいいオバケバックを作って、お菓子をもらいにでかけました♡みんなとっても嬉しそうだったね♡

☆マタニティ教室☆



4組の方が参加し、富良野からの助産師さんと一緒に、身体をほぐしゆったりとした時間をすごしました。新生児の赤ちゃんもきてくれて癒しの時間になりました。

保育所の元気な子どもたち

幾賓保育所

10月24日（土）、お遊戯会が行われました。この日に向けて、子どもたちは、毎日練習を重ねてきました。

当日は、未満児クラスの園児は愛らしく、年少さんから年長さんクラスの園児は、元気に堂々と発表をすることが出来ました。



金山保育所

10月10日（土）、お遊戯会が行われ子ども達は、可愛い衣装を着て踊ったり、劇をしたり、一生懸命練習をした和太鼓やよさこいソーランを元気いっぱい披露しました。

お遊戯会を無事に終えて、ちょっぴり成長した子ども達です。



しょうぼう広報 ほのお

富良野消防署南富良野支署

☎52-2119 FAX52-2979

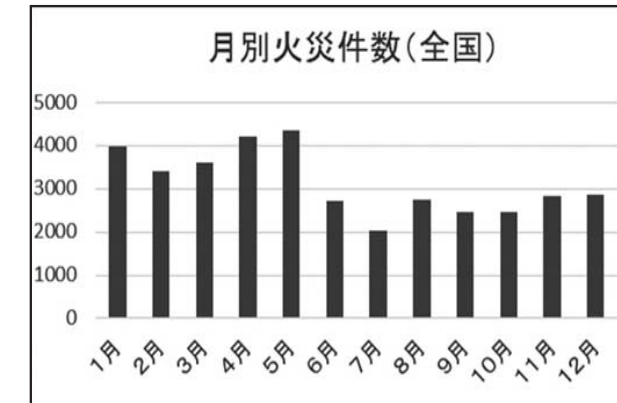
✉fs-nanpu@vesta.ocn.ne.jp

災害案内 ☎52-3119

極寒到来！ストーブ火災に注意しましょう！

日増しに寒さが厳しくなり、暖房器具が欠かせない季節となりました。資料1の棒グラフにあるように、全国的に火災件数は、暖房器具を使用する11月から増え始め、冬から春の期間に多く発生しています。

また、資料2の表にあるように、道内においては「ストーブ」が火災原因の2位に挙げられています。



(資料1 令和元年 消防庁防災情報室)

出火原因別火災件数(北海道)

原因別	件数	比率
コンロ	151	8.9%
ストーブ	145	8.6%
放火	106	6.3%
たばこ	101	6.0%
電話等の配線	63	3.7%
配線器具	46	2.7%
交通機関内配線	43	2.5%
排気管	39	2.3%
マッチ・ライター	37	2.2%
放火の疑い	35	2.1%

(資料2 平成29年北海道総務部危機対策局)

ストーブにおける4大ポイント！

①ストーブの周りに物を置かない！



- ・ストーブの近くに服や雑誌などの燃えやすい物を置かないこと！
- ・洗濯物をストーブの上に干さないこと！

②就寝前のストーブの消し忘れに注意！



- ・ストーブの近くには布団などの燃えやすい物を置かないこと！
- ・寝る前に必ずストーブの安全を確認すること！

③ストーブの近くにスプレー缶などを置かない！

- ・殺虫剤や化粧品などのスプレー缶をストーブの近くで使わないこと！ また、置かないこと！



爆発の恐れあり

⑤給油時には必ずストーブを消してから！

- ・給油する際は、必ずストーブを消してから行うこと！
- ・給油後、口金や蓋を完全に締めること！



ストーブの取り扱いは一歩間違えたら重大な事故に繋がるので、十分に気を付けて使いましょう！

南富良野支署出動件数(令和2年1月1日～10月31日)

- 救急出動 86件(うちドクターヘリ要請件数 10件)
- 火災出動 6件(うち他市町村応援出動 4件)
- 救助出動 1件

地域貢献活動へ感謝状を贈呈

11月10日（火）に、地域貢献活動として道の駅駐車場の区画線整備をされました帯広市の北海道道路整備株式会社 橋本 聡 代表取締役へ、池部町長より感謝状が贈呈されました。

北海道道路整備株式会社は、本町が平成28年の豪雨災害による被災後にも、地域貢献活動により道の駅駐車場の区画線整備を支援していただきました。

今回は、その区画線が3年を経過し薄くなっている状況を見て、地域貢献活動を申し出られ、10月8日に区画線整備が行われました。



寄附・寄贈

次の方々から寄附・寄贈がありました。皆さんのご厚志に対し紙上をもって厚くお礼申し上げます。

南富良野町へ

○下金山 長谷川サダ子様より故長谷川英夫様生前のご厚志に対するお礼として 十万円

○札幌市 奥田行代様より故奥田充様、故奥田壽枝子様、生前のご厚志に対するお礼として 十万円

まちづくり応援寄附金

○東京都 大野 孝義様 一万円
 ○東京都 城下 美佳様 一万円
 ○東京都 鈴木 晴子様 二万円
 ○東京都 山田 英治様 一万円
 ○静岡県 猪又 凌馬様 一万円
 社会福祉協議会へ
 ○下金山 長谷川サダ子様より故長谷川英夫様生前のご厚志に対するお礼として 十万円

○幾 寅 藤川秀雄様より故藤川浪子様生前のご厚志に対するお礼として 十万円

○札幌市 奥田行代様より故奥田充様、故奥田壽枝子様、生前のご厚志に対するお礼として 五万円

一味園・からまじ園・こぎくろ園・ふくしあへ

○北落合 十河 和幸様
 ○落合 木村 廣子様
 ○幾 寅 五十嵐 柳子様
 ○幾 寅 高橋 一久様
 ○幾 寅 山田 和彦様
 ○下金山 中田 外喜子様
 ○占冠村 坂東 寿美子様
 ○富良野市 濱口 智慧子様
 ○富良野市 松本 好子様
 ○中富良野市 岩崎 恵美子様
 ○美瑛町 本間 英行様
 ○旭川市 前川原 紀子様
 ○増毛町 三條 ウメ子様
 ○札幌市 吉岡 繁勝様
 ○神奈川県 三原 智恵子様

★お悔やみ申し上げます

金山 横山 幸子(84)
 令和2年10月1日逝去

下金山 長谷川 英夫(85)
 令和2年10月16日逝去

幾 寅 奥田 壽枝子(102)
 令和2年10月27日逝去

幾 寅 藤川 浪子(82)
 令和2年10月30日逝去

南わたしたちのまち

(令和2年10月末日現在)
 人口 2,393人(△4)
 男 1,220人(0)
 女 1,173人(△4)
 世帯数 1,332戸(△2)
 ()内は前月比